

## 福智町立弁城小学校 P T A

〒822-1212 田川郡福智町弁城 1 9 3 6

TEL 0 9 4 7 - 2 2 - 0 1 2 9

### 1 会員数及び会費（平成 1 8 年度）

区分	P 会員	T 会員	その他の会員	計
会員数	6 2 人	1 3 人	0 人	7 6 人
一人あたりの会費 (年間)	2640 円(子 1 人) 3000 円(子 2 人以上)	2 6 4 0 円	0 円	

### 2 収支決算

収入の部	会費収入	204,180 円	繰越金・利子	219,680 円	計	423,860 円
支出の部	費目	支出額	摘 要（主な使途）			
	総務費	37,047 円	渉外費、奨励費、環境費、会議費、旅費 活動費、負担金、慶弔費			
	事業費	163,929 円				
	予備費	6,300 円				
	計	207,276 円				

### 3 設けられている会則・運営規則・会計規則等

会則などの名称	制定・改正年月日	要 旨
福智町立弁城小学校 P T A 規約	平成 1 8 年 4 月 2 8 日	一部改正
P T A 慶弔規定	平成 1 7 年 4 月 2 7 日	一部改正

### 4 発足から今日までの歩み

年・月	P T A の沿革（活動のトピックスのみ記載）
昭和 2 2 年 4 月	方城町立弁城小学校父母教師会発足
平成 1 5 年 6 月	広報紙コンクール P T A 連合会会長賞受賞
平成 1 6 年 6 月	広報紙コンクール西日本新聞社賞受賞
平成 1 9 年 5 月	広報紙コンクール福岡県教育委員会賞受賞
平成 1 9 年 1 1 月	優良 P T A 文部科学大臣表彰受賞

## 5 地域の概要

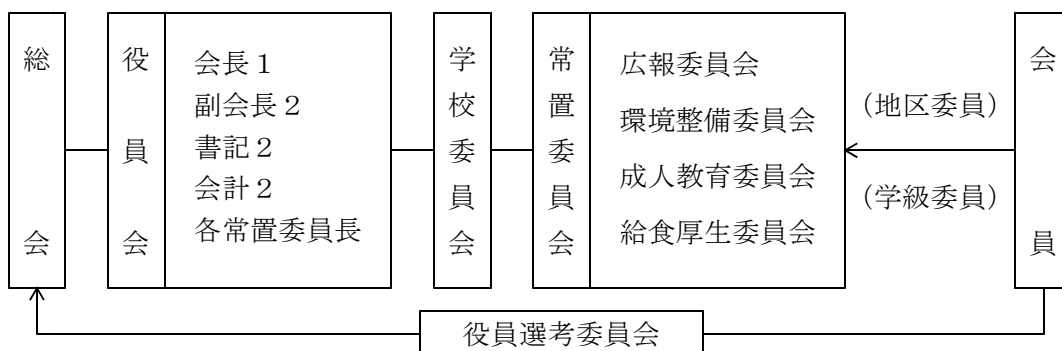
明治8年弁城村字新町に修業年限4年の下等小学校として開校して以来133年目を迎えた。平成18年3月に方城町と近隣の赤池町、金田町が合併しこれまでの方城町立弁城小学校から福智町立弁城小学校と改称した。近くには方城温泉「ふじ湯の里」があり、毎日田川地区以外の北九州方面からも温泉客が多く来町している。弁城地区は昔から地域性が強く、弁城小学校に対する地域の方々の期待と関心が多く寄せられている。

## 6 組織運営の状況

保護者と教師は全員会員でありPTAは役員会と4つの常置委員会（広報委員会・環境整備委員会・成人教育委員会・給食厚生委員会）によって活動を行っている。それぞれの委員会が計画した活動については各委員と役員が中心となって全保護者に呼びかけ、多くの参加者による活動が行われている。

事務局は学校に置き、教師が文書処理を行っているが、役員や常置委員会の委員長が学校に出向いて教師会員と連絡を密にして保護者と教師の意見が共に繁栄されるよう、よりよい活動計画を立てることを心かけている。

活動を行う際には必ず参加者に対して活動に対するアンケート調査を行い、結果を広報紙を通して会員に知らせている。また、アンケート結果から活動の在り方等について役員会や4つの常置委員会合同会議である学校委員会（年4回）の中で検討を加え、翌年の活動へとつなげている。



## 7 広報活動の状況

広報委員会ではほぼ毎月PTA活動の様子を知らせることや保護者への啓発を目的とした広報紙「せせらぎ」を発行している。学校新聞ではなく学級新聞でもないPTAのための広報紙を目指し、活動を続けている。県のPTA広報紙コンクールに於いて平成15年6月にはPTA連合会会長賞を平成16年6月には西日本新聞社賞を平成19年5月（18年度広報紙 年10回発行）には、最高賞である県教育委員会賞を受賞した。

広報委員会ではこの広報紙を通して、PTA活動だけではなく会員がともに考えていかなければならない様々な問題等についても記事を工夫して掲載することによって

会員の資質向上にもつなげている。

## **8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況**

毎年中学校区3校によるPTA教育講演会を実施している。また、成人教育委員会が中心となって研修視察を行い、会員の研修と親睦を深めている。学校行事には役員をはじめ多くの会員と地域の方々の参加と実施にあたっての協力を得ており、家庭と学校との意思の疎通がうまく図られている。

学校のホームページには児童の様子や学校行事だけではなく、PTA活動の様子も掲載している。

## **9 児童・生徒の学校外生活の指導に関する活動状況**

成人教育委員会が中心となって夏休みの夜間補導や特別補導に参加し、児童の生活指導を行っている。弁城小学校では以前から交通事故や不審者から子ども達を守るために集団登校を取り入れている。方面担当の教職員と成人教育委員、また、地域の老年寄りなどの協力をいただきながら月2回の登校指導を行っているが、この取り組みによって集団での道路の通り方や挨拶の仕方がよくなってきている。

地域の中で気になる事等については役員が中心となって関係の保護者との話し合いの場をもって改善を図ろうとしている。

## **10 地域の教育環境の整備に関する活動**

環境整備委員会では、学校の環境整備の他に地域の美化活動としての愛郷作業を行っている。登校時間を早めて保護者や地域の方々も一緒に通学路のゴミ拾いと危険箇所の点検を行っている。危険箇所の点検により、地域の安全マップを作成して各家庭へ配付し、安全についての啓発をしている。

地域ボランティアの協力により、月に3回の定期的な本の読み聞かせを行ったり、地域の農家の方々の指導のもとに3年生以上の総合的な学習の一環として毎年田植えから稲刈りまでを行っている。収穫した米は地域の老人施設や給食センター等に届けられて喜ばれている。

## **11 今後の課題**

役員の選考に当たっては弁城地区の7つの地区からそれぞれ選出された方の互選によってそれぞれの任に当たるようにしている。しかし、小規模校で児童の減少傾向から地区によっては会員がほとんどいなくなる場所もあり、今後の役員選考の方法を考え直す必要がある。

これまで多くの会員の参加で様々な活動を行ってきたが、本会の目的である「父母と教師が協力して児童の健全な成長を図る」ことに立ち返ってこれまでの活動にとらわれず、PTA広報紙と同様に学校活動ではなく学級活動でもないPTAのための活動を創っていくことが大切である。